

# 羅針盤



社会科部 情報活用委員会

## 何のために社会科を学習するのか？

藤川小学校 校長 片桐 徹

「社会科って、どんな教科かな？」子供に尋ねる機会がありました。すると、「たくさん覚えなくていけない教科！」という声が聞かれました。経験の浅い先生からも、ときどき似たような声を聞くことがあり、とても残念に思います。

社会科学学習をめざすのは、「社会生活の理解」を図り「公民的資質を養う」ことです。これは、私たちが様々な人と関わりながら生活していることを理解し、その中で様々な人の見方や考え方を受け入れながら、よりよい世の中をつくっていく力を身につけることだと言えます。世の中をしっかりと見つめる目は、出来事や仕組みなど社会事象を説明して教えるだけでは養われません。大切なことは、「教科書を」教えるのではなくて「教科書で」教えることです。「教科書を」教えようとする、網羅されている内容を説明して終わる授業となりがちです。「教科書で」教えるようにすれば、教科書をきっかけにして、①問題をつかみ、②予想し、調べながら、③自分の思いや考えを持ち、④他の人の思いや考えと比べながら解決しようとするプロセスを大切にできます。

社会科学学習のねらいに立ち返り、一つ一つの授業を見つめ直して、お互いの立場の違いを尊重したり、義務や責任を果たそうと努力したり、公正に判断したりできる子供を育てていくことが、社会科を教える教師の務めです。

### 新入部員の紹介

今年度の新任は15名です。どうぞよろしくお願いたします。

根石小 長谷 昇知  
連尺小 木里 悠乃  
矢作西小 光崎 真司  
形埜小 鈴木 康仁

岡崎小 南 健太郎  
広幡小 旦木 里奈  
小豆坂小 鈴木 由理  
矢作北中 吉田 修悟

六名小 木造 志帆  
大樹寺小 安藤 智実  
小豆坂小 勝村 大修  
竜南中 鈴木太加志

竜美丘小 布施 将太  
大門小 古瀬 彩  
豊富小 中西 悠

### 「夏休みこども体験講座」 「夏休み社会科自由研究相談会」

- 期 日 7月22日(日) 23日(月)
- 時 間 ①10:00~11:30 ②14:30~16:00
- 場 所 岡崎むかし館 (りぶら1階)
- 講 師 山崎 彰伯 先生  
森田 淳一 先生
- その他 ・参加希望者は、上記の時間帯に、岡崎むかし館に来てください。  
・事前の申し込みは必要ありません。  
・児童生徒にお知らせください。



### 三教研夏季研修会情報

- テーマ 「仲間とかかわりながら、よりよい社会づくりへの参画をめざす社会科の授業」(1年次)
- 期 日 8月3日(金)  
12:50~16:30
- 会 場 岡崎市民会館(甲山会館)  
※詳細は先日配付しました案内をご覧ください。  
※本年度、岡崎市社会科部の代表として、實松勇太先生(大門小)と小久江友見先生(葵中)が実践を報告されます。多くの先生方のご参加をよろしくお願いいたします。  
(三教研担当 梅園小 新井健祐 竜海中 成田道俊)

# 発見!一押し地域教材!

(男川小 原田康成先生)

## 「スーパーマーケット見学」(男川小学区)

### ★授業への活かし方★

- 小学校3年生  
単元「働く人とわたしたちの暮らし」にオススメ!

- 学習課題  
「スーパーマーケットのひみつを見つけよう」

### ★一押しポイント★

- ①視点をしばって見学 → ・働く人のくふう ・売り場のくふう ・売ること以外のくふう
- ②見つけたくふうをノートに記録 → 目標を設定するとよい。「20個以上見つけよう」など記録している子供を褒める!驚く!励ます!
- ③お客さん・お店の人にインタビュー → 事前学習で、質問を作っておきたい。

子供たちは見学が大好きである。本物を見ることによる問題解決、働く人の生の声を聞けること、そして、教室から飛び出して学習する喜び。社会科を好きにする絶好の機会が、見学である。

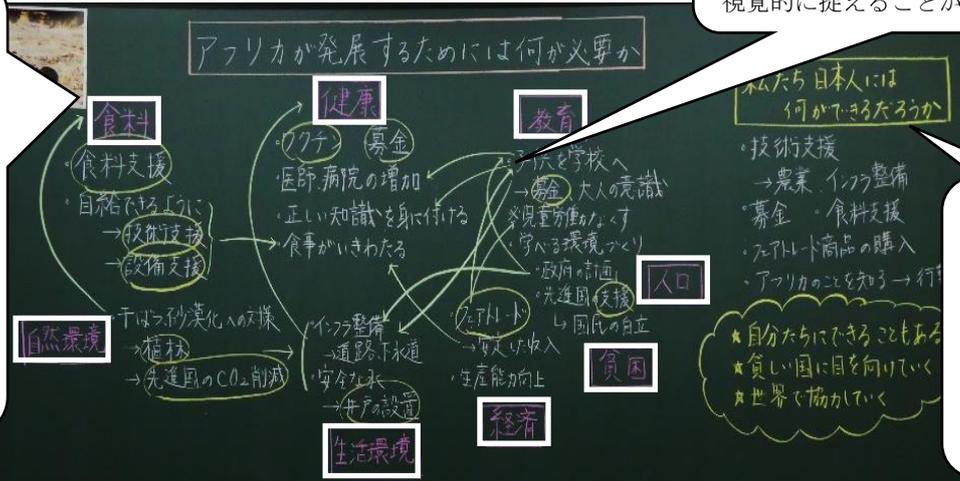


# 必見!授業技!

(福岡中 権田康成先生)

## ポイント①

アフリカが発展するためのキーワード「食料」「自然環境」「生活環境」「経済」「貧困」「人口」「教育」を輪のように書く。その中に生徒の発言内容を書くことで、生徒の発言をつなげていく。



## ポイント②

関連している発言を線でつなぐことで、様々な問題が関連していることを視覚的に捉えることができる。

## ポイント③

第2課題を提示し、これまでの生徒の発言から、さらに思考を深める。

## 本時までの流れ

1年生の「世界の諸地域～アフリカ州～」における実践です。アフリカの自然環境、歴史、産業などを理解したうえで、そこで生活する人々に目を向けて学習しました。そこから浮き彫りになった、アフリカが抱える課題を追究し、アフリカの発展について考えました。

# 自主研修セーリング報告「明日の授業はこれでバッチリ!模擬授業でわかる普段着の授業」



## 第一回 ～授業の導入のポイント～

内容：教科書に載っている元寇の絵から疑問を出させ、課題につながる導入。子供たちの疑問から学習課題が成立しました。

## 第二回 ～話し合い活動のポイント～

内容：郷土読本を資料とし、埋められるごみが減った理由を話し合う模擬授業。視点を明確して根拠のある話し合いが行われました。

グループ活動でも、運営委員の先生によるミニ模擬授業が学年別に行われ、また、日々の授業についての相談をすることもできました。

次回は、9月14日(金)に「最優秀論文の書き方」をテーマに行います。ぜひ、ご参加ください。

